

平成31年度フロンティア・アドベンチャー

「やまなし少年海洋道中」事業報告

事業概要

今年で32回目を迎えたフロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」は、令和元年8月1日から8月9日までの9日間、東京都八丈島においてキャンプ生活を実施しました。令和という新たな年号のもと、台風の影響も心配されましたが、予定通り無事に全日程を終えることができました。

八丈島の小中学生との交流会、漁業体験、スノーケリング、1泊2日で八丈島各地を巡るサバイバル踏破など、参加した中学生は、様々な体験活動のなかで多くのことを学び、これまで以上に大きく成長することのできた9日間となりました。

出発式（8月1日）



1日目。出発式を迎える直前に突然の激しい雨が降りました。そのようななか、防災新館1階「やまなしプラザオープンスクエア」で行った出発式は、参加者代表の「山梨では経験できない海での生活を9日間にわたり八丈島で送ります。このような経験をさせてくださる方々に感謝し、50人の仲間とともに、協力し、たくさん楽しみ、そして学び、たくましく成長して帰ってきます」という立派な誓いの言葉でスタートしました。たくさんの保護者の方々に見送られ、バスは竹芝棧橋へと向かいました。係・班での最終ミーティングのあと、八丈島を目指し「橘丸」へ乗船しました。

八丈島到着（8月2日）



2日目。比較的穏やかな船旅だったため、船酔いの参加者は少なく、真っ青な空と、真っ青な海の向こうに八丈島が見えました。すぐそこに八丈島を見ることができるデッキで、朝のつどいを行いました。待ちに待った八丈島の姿に、参加者は期待を膨らませるばかりでした。船はほぼ予定通りに、八丈島底土港に到着しました。今年度も八丈町教育委員会をはじめ、たくさんの関係者の皆さんが、私たちを温かく出迎えてくれました。歓迎セレモニーのあと、朝食を食べることで力を得て、暑い日差しの八丈島の地を、垂戸ベースキャンプ（以後BC）に向かって移動しました。

テントアップ（8月2日）



BC到着後、全員でテントやかまど、食事テント等を設営しました。これから自分たちが生活する場所づくりを、みんなで協力しながら行いました。どの班も生活しやすい場所に、ボランティアリーダー（以後VL）の指示を聞きながら、設営していきました。事前研修会で学んだことを思い出し、調理のためのかまども作りました。失敗もありましたが、多くの作業を時間通りに終えることができたことは、班として大きな自信になったことでしょう。

開村式（8月2日）



無事にテントアップを終え、八丈町教育委員会のみなさんにもご参加いただき「開村式」を行いました。各班、自分たちが八丈島でどう協力し、過ごしていくかを確認しました。班長は「友情・奉仕・連帯・開拓・交流」に基づいた、決意表明を行いました。八丈町教育委員会佐藤誠教育長・竹野団長の話を聞くことで、これからいよいよ始まるキャンプ生活に向け、そしてこの「やまなし少年海洋道中」でのでっかい体験に向け、今まで以上に大きく成長することを改めて胸に誓ったことでしょう。

野外炊事（8月2日）



「開村式」を終える頃には、もう辺りは少し暗くなり始めていました。今年度は事前研修会のなかで、野外炊事を行わなかったため、これが班で初めての調理・野外炊事となりました。テントアップのときに自分たちで作り上げたかまどに火を入れ、調理にとりかかりました。うまく火がおこせた班も、おこせなかった班もありましたが、みんなで協力して、苦勞しながら作った夕食は格別で、初日の食事は大成功でした。どの班もおいしく食べることができ、参加者同士多くの笑顔がこぼれる、大満足の夕食でした。

八丈島の小中学生との交流会 I（8月3日）



3日目。午前中は八丈町の小中学生とともに、初めての交流会を行いました。お互いの緊張をほぐすためにアイスブレイクを行うことで、参加者同士の仲が深まってきました。気持ち良い青空の下、お互いの顔とキャンプネームを確認し、心の距離を縮めることができました。その後は、各テントサイトで自分たちだけの班旗作りと昼食作りを、協力しながら行うことができました。山梨の参加者にとっても、八丈町の小中学生にとっても、1回目の交流会は大きな宝物となりました。

スノーケリング1回目・星空観察（8月3日）



この日の午後には、底土海岸へ移動し、参加者にとって待ちに待った1回目のスノーケリング実習を行いました。まずは事前研修会の復習から始めました。「もっと時間が欲しい」「すごく海がきれいだった！」と感じながら、楽しい時間を過ごすことができました。そして、この日の夜は星空観察を行いました。日中からの良い天気が夜まで続き、海同様に、夜空までもきれいな1日でした。みんなで地面に寝転がり、最高の星空を観察することが出来ました。

漁業体験活動「漁業観察」（8月4日）



4日目。この日も天候はよく、風は多少ありましたが。海に船が出ることのできる状態ということで、漁船でのクルージング体験をしました。漁船に乗ることは、ほぼ全員が初めての体験でした。どこまでも続く空と海の青い景色。そして心地良く吹く風は最高の体験でした。この仲間と過ごすことのできる時間、また山梨では決してできない貴重な体験は、みんなにとって最高の時間となりました。

漁業体験活動「くさや工場見学・体験」（8月4日）



続いて、神湊港近くにある「くさや工場」の見学をさせていただきました。くさや特有のにおいが漂うなか、ムロアジを「さばくグループ」と「試食をするグループ」に分かれ、それぞれが交代で活動しました。生魚に触ることが苦手な参加者や、においに抵抗のある参加者がいましたが、上手にさばくことができました。また試食では、独特なおいから、敬遠する参加者もいましたが、食べてみると八丈のくさやはこんなにも美味しいのか、ということを改めて感じることができました。

漁協女性部の手作り料理（8月4日）



この日の昼食は、神湊漁協女性部のみなさんより、島の新鮮な食材を使った手料理をいただくことができました。おにぎりや魚の揚げ物、そしてパッションフルーツなど、どれも美味しく、参加者は大満足の昼食をいただくことができました。どの班も目の前にあるたくさんの料理を食べ終え、とても満足した顔をしていました。

スノーケリング2回目（8月4日）



昼食後は、底土海岸へ移動し、2回目のスノーケリング実習を行いました。この日は昨日より、さらに海が透明で綺麗でした。参加者が沖に出ると、海底まではっきり見え、海底のサンゴや色とりどりの魚を見ることができました。時間を忘れて、豊かな自然、壮大な海に感動を与えてもらうことができました。